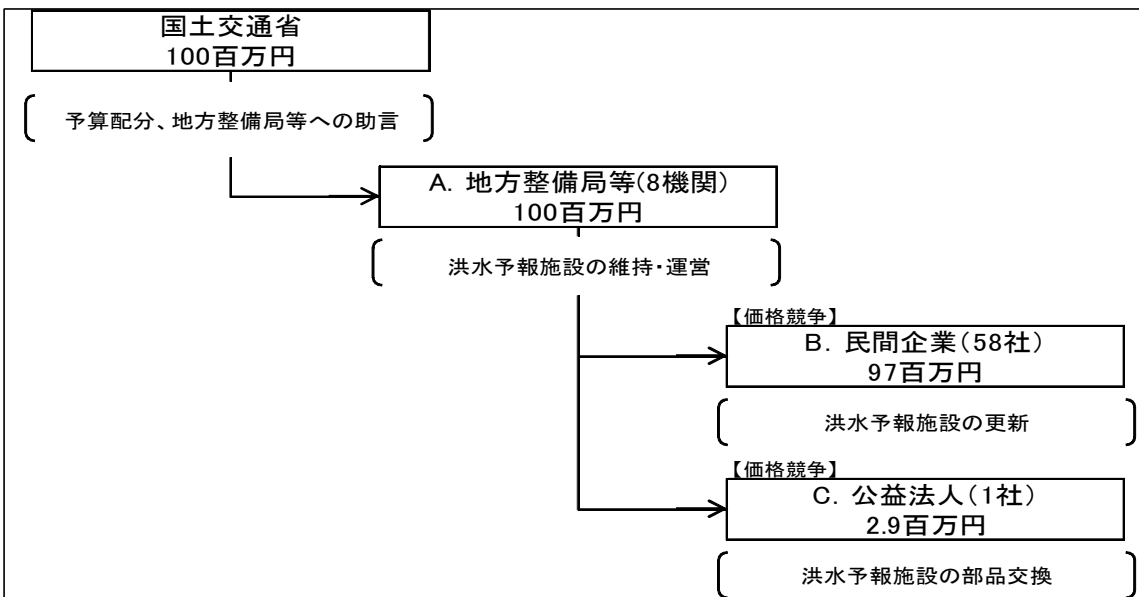


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	洪水予報施設経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和25年～		担当課室	治水課		課長 山田 邦博		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 12 水害・土砂災害の防止・減災を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、全国の一級河川において、国土交通大臣等が水防法に基づき実施する洪水予報や水防警報により、水防団の活動や住民の避難などが迅速に行えるよう関係機関や市町村、住民の方々へ情報を伝達し、以て、水害の防止・減災に資することを目的とし、施設の維持管理を行うものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、国土交通大臣が洪水予報、水防警報を実施する全国の一級河川において、水系各地の雨量等の把握や河川水位の予測、並びに情報の伝達を迅速に行うため、老朽化した雨量・水位観測施設や警報施設等の更新や機器交換を行い機能を維持するものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	105	105	100	100	100	
		繰越し等	—	—	—	0		
		計	105	105	100	100		
	執行額	105	96	99				
	執行率(%)	100.0%	91.4%	99.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	洪水予報、水防警報実施に必要な雨量の把握・河川水位の予測、並びに情報の伝達を迅速に行うために、老朽化した施設等の更新や機器交換を行い機能を維持するものであり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。			%				
	活動指標		達成度					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	全国505の洪水予報施設の更新				24	24	25	—
単位当たりコスト	4,000 (千円/施設)		算出根拠	100百万円 ÷ 25施設 = 4,000,000円				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	洪水予報施設費	100	100					
	計							

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名
点検結果	<p>予算の執行状況等について、各地方整備局等へのヒアリング等を通じて確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また、資金の流れの検証ができるよう、全ての契約額・支出先及び契約方式等を把握している。確実に水防警報や水防予報など危機管理情報が伝達できる機能を確保しつつ、部品交換等により施設の延命化を図り、可能な限りコスト縮減に努める。</p>		
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	<p>これまでの知見を活かしつつ、さらに機器交換等による施設の延命措置を講じるなどコストを縮減し、適切な施設管理に努める。</p>		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	-		
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
	平成22年	平成23年	平成24年

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※契約ベース
※百万円単位四捨五入のため一部合計が一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 東北地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	洪水予報施設更新	16.0			
計		16	計		0
B横河電子機器(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	洪水予報施設の更新	13			
計		13	計		0
C.(社)近畿建設協会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	洪水予報施設の部品交換	2.9			
計			計		0
			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0

支出先上位10者リスト

B. 民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横河電子機器(株)	洪水予報施設更新	12.700	1	0.99
2	(株)ケーネス東北支店	洪水予報施設更新	9.475	1	0.99
3	(株)岩崎	洪水予報施設更新	4.500	2	0.96
4	(株)拓和	洪水予報施設更新	3.900	1	0.95
5	富士通(株)	洪水予報施設更新	3.800	1	0.98
6	(株)拓和	洪水予報施設更新	3.700	1	0.98
7	(株)拓和 東京支店	洪水予報施設更新	2.600	1	0.86
8	㈱エイブルジャパン	洪水予報施設更新	2.586	9	0.84
9	(株)共和計器	洪水予報施設更新	2.142	2	0.92
10	日建電設(株)	洪水予報施設更新	2.136	2	0.72

C. 公益法人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)近畿建設協会	洪水予報施設の部品交換	2.90	1	1.00
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					